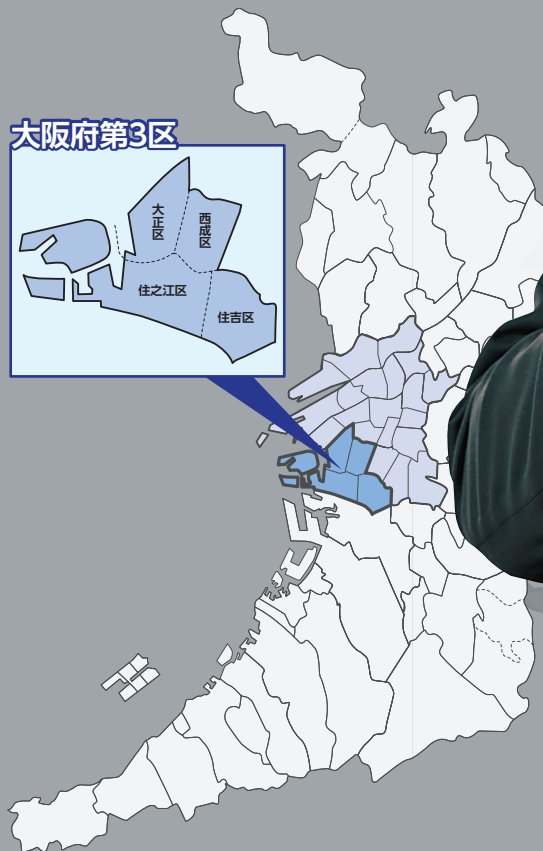


2020年
創刊号

Osaka Thanks

Akira Yanagimoto

まちは、そこに住む人を創ります。そこに住む人が、まちを創ります。私達のまち、大阪。政令指定都市として、大阪・関西の母都市としての役割を果たしてきた大阪市。ふるさとに感謝の気持ちを込めて『Osaka Thanks(大阪3区)』を発行します。



柳本 あきは
自民党大阪第三選挙区
支部長 代行代理に
就任しました。

やなぎもと あきは

挑 戦

自民党の **光** を絶やさぬよう **柳本 顕** は動きます!

Contact Dialogue meeting

ふれあい 対話集会の ご案内

地域に精通された皆様の声が、地域のまちづくりを進めています。そして、国の大きな制度もその声が創り上げているのです。自民党大阪三区では、積極的に地域の声をお聞きし、行政施策へと反映させるべく【**ふれあい対話集会**】を開催しています。行政情報をお届けすると共に、地域の皆様との意見交換の時間を大切にして参ります。是非とも、お近くの集会へお立ち寄りください。

住吉区 2月28日(金) 住吉区民センター 集会室

住之江区 3月27日(金) 住之江会館 会議室

西成区 4月15日(水) 西成区民センター 会議室

大正区 5月28日(木) 大正区コミュニティーセンター
会議室

■開始時間／すべて19:00から

ふれあい対話集会の
特設ページは
こちらから▶



ポスター掲示のお願い

ふれあい対話集会の告知のポスターを大阪三区中心に掲示をしています。

また、皆様のお宅や空きスペースなどで掲示が可能であれば、掲示に伺いますので、是非ともご協力賜ります様、お願い致します。なお、対話集会の日については、随時新しい日のはり替えを大阪三区として進めて参ります。



柳本あきらプロフィール

自民党大阪府連会長補佐
府連青年局顧問
自民党西成区支部支部長

1999年最年少25歳で大阪市会議員初当選(以降、5期当選)◇市議団政調会長、幹事長などを歴任◇自民党府連では青年局長、広報委員長など歴任◇2015年いわゆる「大阪都構想」の住民投票では大阪市存続派のリーダーとして、橋下(当時)市長と討論◇テレビ討論番組などにも多数出演◇大阪市長選挙に出馬するも敗れる◇YouTube アキラズバーなどネット発信にも力を入れる◇2020年自民党大阪三区支部長代行代理に就任

Facebook yanagimotoakira

Twitter @yanagimotoakira

YouTube 柳本あきらチャンネル

柳本あきら

自民党員 募集

自民党では党員を募集しています。年会費4000円(家族会員2000円)。一緒に活動して、政治を身近に感じてみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

発行元：自民党大阪第三選挙区支部
場 所：大阪市住之江区御崎1-6-29
連絡先：支部長代行代理 柳本顕事務所
TEL06-6631-8070

憲法改正集会の開催



前.11.25 励封会より

令和元年11月25日。『柳本あきら君を励ます会』が大坂三区の地域関係者、各種団体、後援者など多くの皆様のご参加の中で盛大に開催されました。当日は憲法改正集会和合わせての開催となり、党本部から幹事長代行の稲田朋美衆議院議員を講師としてお迎えし、危機管理の観点などを踏まえ、憲法改正の意義に

② 外国人問題

外国人旅行者の急増により、街中の民泊も増えてきています。また、あらゆる場所においての多言語対応なども求められるようになってきました。更に、**外国人労働者**も増え、旅行者も含めて、地域社会との軋轢が問題になるなど、課題も顕在化してきています。国際化社会の中で避けて通れない道であるものの、国と地方が連動しながら、安心な地域社会を円滑に持続していくためには、厳しいルールも必要であり、**地域との連携**は必須です。日本人とは、大阪らしさとは何かを踏まえ、継承すべき伝統文化を守りながら、**外国人との共生**を図っていくまちづくりを前向きに進めていきます。

また、外国人による**土地取得問題**も大きな問題になりつつあります。いつの間にか、私たちのふるさとが外国人に全て乗っ取られてしまうということのないように、まずは現状の把握に努め、一定の規制をかけていくような国策が必要であると考えます。秩序ある長期的な地域発展を目指します。



ついでのご講演がありました。大阪とも縁の深い稲田先生から、柳本あきら氏に対する激励の言葉も頂戴致しました。昨年の大阪市長選挙を経て、大阪の政治の最前線からは遠ざかっていましたが、この日の挨拶で『復活宣言』をし、自民党府連においても会長補佐の役に就き、政策面や広報面で力を注がれる旨、発表されました。また、住吉区・住之江区・大正区・西成区の大坂3区を中心として活動を進めていく強い決意、そして①新しい時代に即した経済の成長②国際化に対しての外国人問題③「大坂都構想」など大都市制度課題などに積極的に取り組むことが表明されました。



今後に向けた決意の演説はこちらから▶「柳本あきらチャンネル」より

★チャンネル登録よろしくお願いします★



③ 大都市制度

2019年末に「特別区設置協定書(案)の作成に向けた基本的方向性」が決まり、本年11月にも大阪市を廃止分割して特別区を設置する、いわゆる「大坂都構想」の是非を問う**住民投票**が行われる予定となっています。

現状を変えるのかどうかという単純なことではなく、住民生活にも大きな影響をもたらすことから、複雑ながらもその中身について正しい理解を深めて頂くべく説明を重ねていく必要があります。まずは、大阪都になるわけではなく、大阪府は大阪府のままである一方で、大阪市はなくなり、24行政区は24つの地域自治区というものになることなど、一つ一つ事実を伝えていくことが重要です。

大阪市を廃止分割することによるコストがかかること、4つの特別区の設置により職員数は増加すること、特別区で自由に使えるお金は減ってしまうこと、新たな協議機関が複数できて意思決定が複雑になること、様々な視点から変化が生じ、結果として住民の生活において

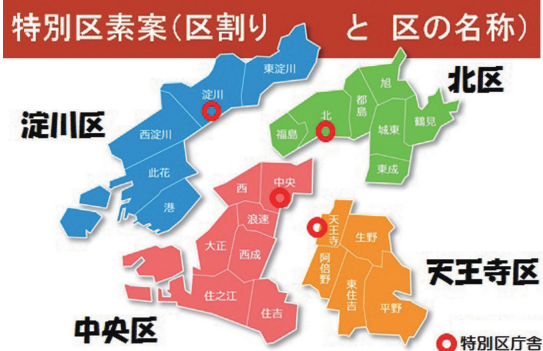
① 新しい社会(ソサエティ5.0)

令和新时代。世界的にも技術革新が進みソサエティ5.0と言われる時代が到来します。例えば、携帯電話、スマートフォンの普及が急速に進んだように、AIやIoTといった最先端技術は勢いを増して社会のあり方を変えることとなります。特に、5G(第5世代携帯電話システム)技術は、新しい産業を生み出し、経済を成長させ、医療や介護、建築、交通、流通などあらゆる分野を一変させる可能性ががあります。進取の気質を持つ大阪が、**大坂発の地域発展モデル**を構築する絶好の機会です。

キャッシュレス、顔認証、ドローン、Maas(マース)、映像・動画技術など、新しい技術を進めたい産業へと導いていく取組みを積極的に進めます。まずは、スタートアップエコシステム拠点都市を目指す。行政情報もデータ化で効率的にしてマイナンバーカードなども活用しながら市民の利便性を高める。そして、2025年の大坂・関西万博を活かして新时代的の提案を世界に向けて発信する。スーパーシティ大阪を創り上げていきます。



防災・教育・地域振興・福祉などのそれぞれの分野において何が変わる可能性があるのか、一度大阪市を廃止分割すれば二度と戻れない道筋であるだけに、理解を深めて頂けるように全力を尽くして参ります。大阪市は、本来もつと京阪神の連携を強化しながら、関西を大きな広域と捉えて経済の中核となる必要があると考えています。『**経済新首都**』と言えるような大阪の姿を目指し、今後とも積極的に活動を展開して参ります。



「ふれあい対話集会」資料より

街頭・広報誌・ネットなど、発信力を更に強化します!